

上殿小学校 交通安全こども自転車大会の軌跡

広島県大会優勝・全国大会出場 20回

広島県大会優勝・全国大会出場 17連覇(平成7年～23年)

全国大会における成績

昭和63年 — 第9位	平成10年	平成17年
平成元年 — 第9位	平成11年 — 第3位	平成18年
平成2年 — 第4位	平成12年 — 優勝	平成19年 — 第10位
	平成13年	平成20年
平成7年	平成14年 — 第5位	平成21年
平成8年	平成15年 — 第6位	平成22年 — 第8位
平成9年 — 第6位	平成16年	平成23年 — 第9位

上殿小学校16連覇の秘密は

全校児童が20人に満たない複式学級の小規模校です。決して運動能力に恵まれた子どもたちばかりではありません。そんな小さな学校が県大会16連覇を達成できたのは、伝統の力です。

上殿小学校の伝統の力は、「自主的な練習」「お互いが教え合うチーム力」「規律ある練習態度」です。これらは一朝一夕にはできません。20年以上かけて培われた上殿小学校の特色とも言えます。



練習前には、キャプテンからめあてが述べられ、練習後には参観者からの言葉をいただきます。その際の聞く態度を大切にしています。



練習中、大きな声を出します。コース練習にスタートする際は、「よろしくお願ひします。」確認時は「よし！」コース練習終了時は「ありがとうございました」と。周りの仲間もアドバイスや応援を絶やしません。



一人ではできないことも、共に汗し、共に喜べる仲間がいたから続けられた。



右 平成23年全国大会終了後

左 平成23年広島県大会優勝 会場で



左 平成22年全国大会終了後



下 平成22年県大会出発式 低・中学年の応援



柔・泰・閑話

▼この季節、法面に茂った雑草の草刈りに追われる日々が続く。この法面にやがて自生の山ゆりが咲き、小さな花畑と化す。淡いピンクの花を楽しみに散歩する人も有り、草刈りを疎かにできない事情がここにある。今年も蕾をつけ、開花の時をジッと待っている。自生の山ゆりは、年々その数が少なくなっていると聞く。▼そんな山ゆりを携えて、半世紀を超えて病院を訪問する伝統校がある。この学校、「山ゆり訪問」のほかに、もう一つの伝統を持つ。「こども自転車県大会」17連覇、全国大会出場20回の自転車安全教育の伝統と誇りである。▼しかし、この伝統校も少子化の影響で、今年の大会に出場できなくなったと聞き、一抹の寂しさを感じる。たとえ、大会への連続出場は途絶えても、先輩から受け継いだ、自転車の安全な乗り方は何時までも忘れないでいて欲しい。▼一見、弱々しくも映る山ゆりだが、細い茎に2、3個の花をつける逞しさと可憐さを併せ持つ。また、何時の日にか山ゆりのような逞しい姿を「こども自転車大会」に見せてくれることをジッと待つことにしたい。

(中川記)